

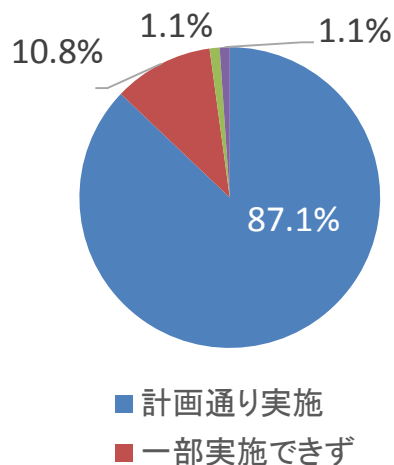
# 上越市第五次観光振興計画の振り返り

---

1. 上越市第五次観光振興計画の振り返り P 3
2. 上越市第五次観光振興計画の進捗状況 P 4 ~ 6
3. 数値目標の状況について P 7

- 上越市第五次観光振興計画に掲げる93項目の取組のうち、「計画どおり実施」は81項目（87.1%）、「一部実施できず」は10項目（10.8%）、「実施できず」は1項目（1.1%）、「事業終了」は1項目（1.1%）という状況であり、概ね計画どおり進んでいる（平成30年度末現在）。
- 具体的には、上越市立水族博物館「うみがたり」及び上越市立歴史博物館のオープン、メイド・イン上越の新たな認証、雪を活用した加工食品や農産物の雪中貯蔵商品等の開発・販売、Wi-Fiの各観光施設への整備など、地域資源の魅力向上や受入環境の整備を図った。また、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、ドイツのオリンピック体操チームの合宿招致が実現したほか、ドイツ料理教室や選手との交流イベントなどの事業を実施し、受入体制の機運醸成を図ったところである。
- このように計画に掲げた様々な項目に取り組んできたが、数値目標は達成できていない状況である。

■ 第五次観光振興計画に掲げる93項目の実施状況の内訳



←上越市立水族博物館「うみがたり」  
(H30. 6. 26グランドオープン)



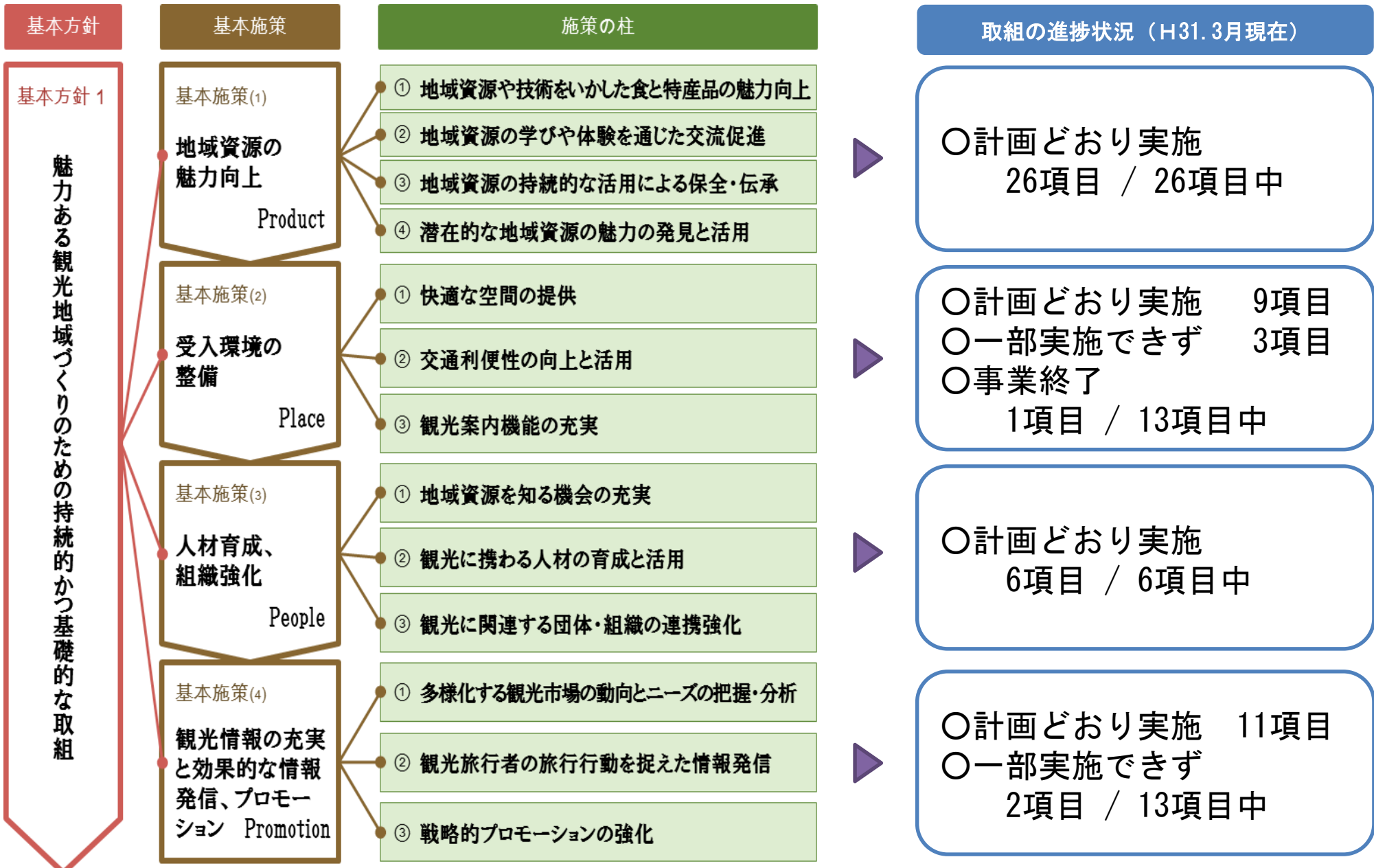
←ドイツ選手と新潟県立看護大学生との交流

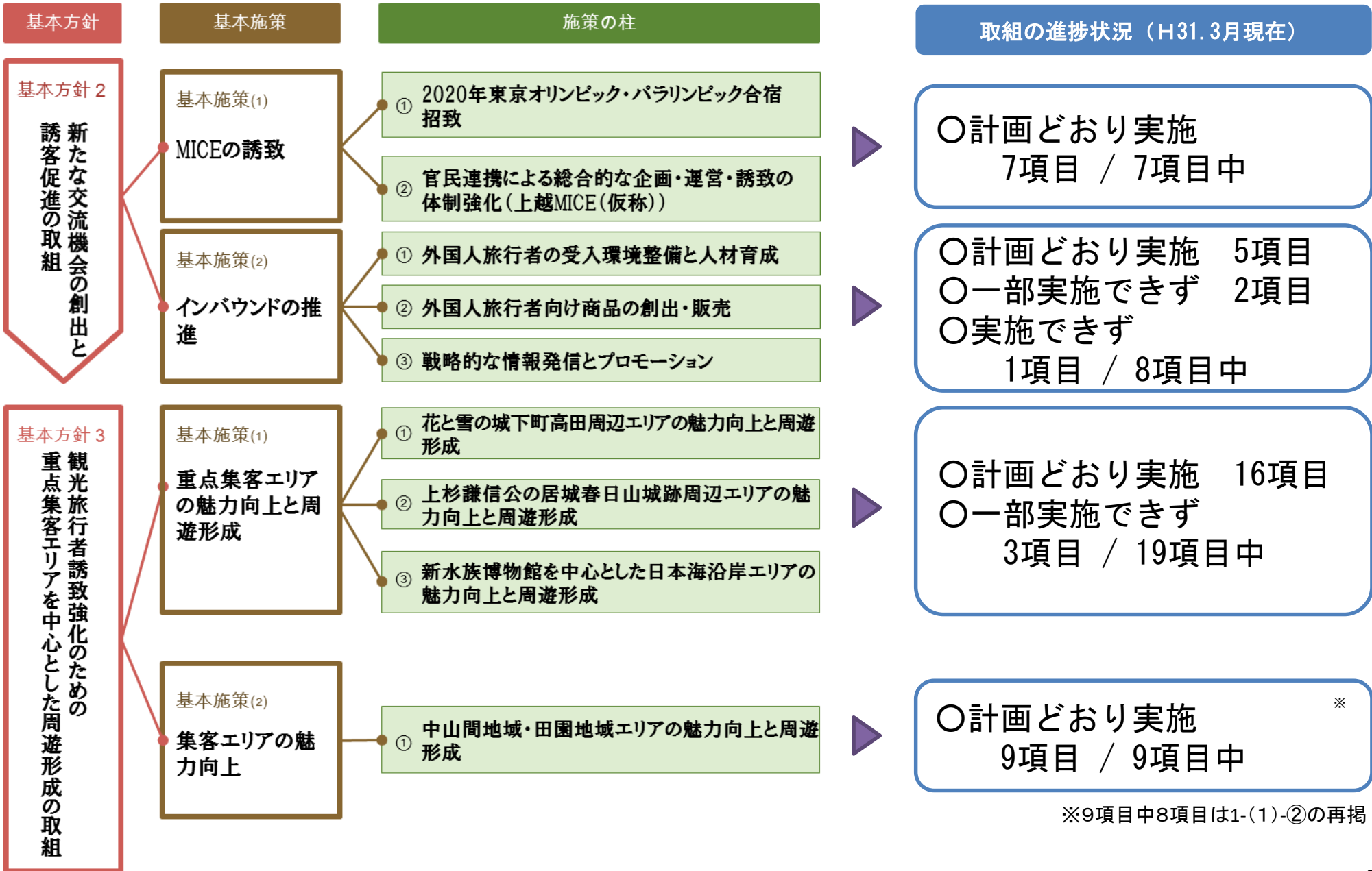


上越市立歴史博物館→  
(H30. 7. 21オープン)

ドイツ選手と→直江津南小学校の児童との交流







## 一部実施できず 10項目

基本方針	基本施策	施策の柱	具体的な取組・事業	主な理由など
1	(2)	②	・利用者のニーズを的確に捉えた観光周遊バス「ぶらっと春日山・高田号」や観光タクシー「ちょこっと観光タクシープラン」等の運行ルートの設定や見直し	・「ぶらっと春日山・高田号」について、旅行形態及び来訪者のニーズの多様化により、乗車人数が伸び悩んでいること、また、「ちょこっと観光タクシープラン」により、サービスが補完されている状況から、平成28年度をもって事業終了。
		②	・駅を起点とするレンタルサイクルの整備	・レンタサイクルは上越妙高駅、直江津駅にとどまっており、高田駅周辺における貸出について具体的な進展がなかった。
	(2)	③	・上越妙高駅でのルートコンシェルシステム機能の充実	・掲載情報が古かったため更新依頼を行ったが、保守中での対応ができず、上越観光Naviを映し出す旨を委託業者と協議したが、機器の仕様上、観光Naviを映すことができなかったため、観光施設の紹介画像(NaviにリンクするQRコード付)をスライドショーで放映するなど、代替策で運用中のため。
	(4)	①	・国の統計基準に基づく観光動向調査の実施とビッグデータの活用	・各種調査の実施にとどまり、観光客の動向等の分析まで至っていない。
	(4)	①	・観光関係団体や観光事業者などの観光に携わる主体との分析結果の共有	・各種調査結果や分析結果の共有が図れていない。
2	(2)	①	・免税店、クレジットカード取扱店の拡充	・タクシーの移動型利用端末機については、機器の日々の進化により新しいものが出てきていることなどから、拡大が進まなかった。
	(2)	②	・外国人目線での、誘客素材の絞り込みとツールの作成	・外国人を対象としたモニターツアーやアンケートを実施したが、アンケート結果等の分析まで至っておらず、ニーズの把握ができていない。

基本方針	基本施策	施策の柱	具体的な取組・事業	主な理由など
3	(1)	③	・直江津駅を中心とした鉄道資産などの地域資源の活用・再生	・旧直江津銀行が耐震工事のため閉館となり、予定していたイベント等が実施できなかったため。
		③	・直江津のPR、イベント実施、情報提供・発信	・より集客が見込め、にぎわい創出に寄与する事業を精査した中で、実施しない事業があったため。
	(1)	③	・小木直江津航路利用者の市内への立寄りの強化及び直江津港へのクルーズ客船誘致の検討	・検討を進める中で、クルーズ船を受け入れる際の岸壁調整や費用対効果の面で課題があることが分かってきたため。

## 実施できず 1項目

基本方針	基本施策	施策の柱	具体的な取組・事業	主な理由など
2	(2)	③	・姉妹都市交流を通じた外国人観光旅行者の誘致の推進	・姉妹都市との具体的な事業の協議まで至っていない。

目標指標	計画策定時	中間数値	目標数値	備考
観光入込	5,468,573人 (平成26年)	4,938,539人 (平成29年)	7,600,000人 (平成31年)	「上越市第6次総合計画（後期基本計画）」において、目標値を見直し、平成31年の目標観光入込客数を5,835,000人とした。
宿泊定員稼働率	31.4% (平成26年度)	33.1% (平成29年度)	43.3% (平成31年度)	上越市独自調査。
観光消費額	273億2,900万円 (平成26年度)	171億300万円 (平成28年度)	379億3,100万円 (平成31年度)	調査を休止したため平成29年度、平成30年度の数値なし。なお、平成31年度は実施中。
滞在満足度	77.7点/100点満点 (平成26年度)	78.1点/100点満点 (平成27年度)	80.8点/100点満点 (平成31年度)	調査団体である信越観光圏がH28に解散したため、以後の数値なし。
再訪問意向	81.3点/100点満点 (平成26年度)	81.2点/100点満点 (平成27年度)	83.4点/100点満点 (平成31年度)	調査団体である信越観光圏がH28に解散したため、以後の数値なし。

※平成31年（度）は令和元年（度）に置き換える